

☆☆☆ JRKU  
第68号

# JR九州ユニオン

福岡市博多区博多駅東2丁目13-21  
GSハイム博多805号  
TEL 092-415-4377  
FAX 092-415-4399  
発行人 縫 和彦  
編集人 田 中 勇

## 第21回定期中央委員会開催!

### 23春闘! ベア13,000円 夏季手当3.5ヵ月要求



縫 和彦

中央執行委員長挨拶

コロナ禍の中、定期中央委員会に参加されました中央委員の皆さんに心から敬意を表すると共に、今後の闘う方向性を全体で確認する委員会にしたいと思えます。

プーチンによるウクライナ侵攻から一年が経過しようとしています。戦争は長期化し、終息の兆しは見出されません。多くの尊い命が奪われるなか一日も早く戦争が終わる事を願ってやみません。

JR九州は、徹底した経費削減大合理化を強行しています。昨秋のダイヤ改正では、車掌職の解消により、多くの先輩方が住み慣れた地を離れ転勤を余儀なくされました。また、佐世保基地の廃止では、先輩方が退職を余儀なくされました。減便ワンマン運転両数の拡大では、お客さまが連日乗り切れない状況が延々と続いています。苦情は1200件を超えているそうです。

一方会社は、その状況に対して増結する車両が無い「お客さまが不慣れで、しばらくすれば落ち着く」と施策の失敗を省みない会社対応に怒りを禁じ得ません。

そのようななかで、職場では他労組との共闘が大きく前進しています。ワンマン問題、職場の要員問題、嘱託

再雇用社員の労働条件改善に対して「共に動く」運動の強化 拡大が今こそ求められています。

23春闘の要求や闘方については、後程詳しく提起していきます。物価高に喘ぎ、生活を切り詰め、傲慢な会社施策に疲労困憊で頑張っている社員の怒りを、各職場で発信して行きましょう。

最近のJR九州の施策は、減便 両数削減 無人駅拡大など、お客さまの声も聴かず会社都合の施策を強行しています。お客さまは勿論のこと、社員すら大事にしない企業に、明るい兆しは見えて来ません。私たちは、労働組合として、地域の皆さまやお客さま、そして社員の声をこれからも代弁していきたくと思えます。

最後に、政治も労働組合も、戦前回帰の動向に進んでいると危機感を感じています。私たちは、微力ながらも、しっかりと声を上げていきたいと思います。

本部は、今年も各地に足を運び皆さんと共にユニオン運動を進めていきます。よろしくお願いいたします。

心温まるメッセージ  
ありがとうございます。

立憲民主党衆議院議員 吉川はじめ  
立憲民主党参議院議員 吉田忠智  
大分市議会議員 馬見塚 剛

中央委員発言

直轄支部

・ワンマン問題 ホーム両数  
検知 モニター不良等三組合  
で意見交換を行ってきた。

・職場の要員問題 特休の  
買い上げで済まされている。  
本来の休養の徹底が出来てい  
ない。組合員の出向先から職  
場復帰を取り組んでいきな  
い。

・3名の仲間が増えた。自動  
運転の拡大 運転士に拘る闘  
い。要員問題 業務中に携  
帯電話で勤務の相談がくる。  
人事 賃金制度の改正 都市  
手当の廃止が出ている。  
・信号冒進が多くなってい  
る。副業が優先されている。  
椅子の反転など運転業務以  
外の作業が多い。春闘し、か  
り闘っていく。

大分地本

・3か月日勤業務を行って  
あらゆる職場を回ってきた。  
津久見駅で不幸な人身事故  
が発生した。列車を止める装  
置が必要となる。統一地方選  
を闘て行く。  
・嘱託裁判 会社の準備書

面に腹が立ち。OB会はカンパ  
まで取り組んで頂いた。春  
闘 他企業はインフレ手当ま  
で出している。職場で声を上  
げなければならない。

熊本地本

・職場は経費削減で照明も  
節約されたが安全衛生委員  
会で問題として改善と繋  
がた。統一地方選を取り組  
んで行く。  
・若い社員は副業で生活の  
維持を行っている。地本集会  
春闘学習会を計画していく。

長崎地本

・副業問題 全体で60名  
が行い、西九州新幹線運  
士までも副業している。本来  
の意義から外れお金のため  
になっている。  
・障がい者団体と意見交換  
を行って来た。貴重な意見が  
聞けた。利用者のためにな  
っていない。組織展望につ  
いて少数だが諦めず、仲間を  
うらめて行きたい。

鹿児島地本

・ワンマン問題 モニター不良  
等改善が見えない。カメラが  
汚れているが直さない。モニ

ター不良のまま3日間も放  
置され運行されていた。要員  
問題何も解消されない。未だ  
に線見マル車教育も終わ  
っていない。会社施策の失敗は  
明らかだ。

11名の中央委員からの発  
言は、闘争申第4号 自動運  
転列車信号にかかわる解明  
要求 闘争申第5号で 中央  
委員会発言で会社 申し入  
れています。

岩谷文之 書記長

総括答弁

・職場から情報を発信して  
もらいたい。  
・23春闘賃上げムード満  
載である。労組の席上妥結を  
許さない体制を築きた。

・ワンマン問題について、モニ  
ター不良などその都度指令の  
指示を受けていく。  
・障がい者団体との意見交  
換の場に出席してきた。色ん  
な意見が聞けた。今後の取り  
組みに生かしていきたい。

・今後予定されている地方  
統一選挙ユニオン推薦議員  
の全員当選に向けて闘て行  
こう。



闘争申第1号

2023年度賃上げ要求  
社員について一律13,000  
0円を引き上げられた。

55歳以降の社員 一律8  
万円を引き上げられた。

・嘱託再雇用社員に一律1  
2万円を引き上げられた。

闘争申第2号

夏季手当要求  
・3.5カ月分

・55歳以降の社員及び嘱  
託再雇用社員に一律10万  
円加算された。

・嘱託再雇用社員 社員と  
同様の支給月数と就業年数の  
区分の撤廃をされた。

・期末手当B6ヵ月を基本と  
された。

闘争申第3号

制度 政策要求  
・25項目、113要求を提  
出

